

特集

MEDLINE データベースと検索用CD-ROM

MEDLINE CD-ROM [Aries]

大西 幸雄

1. はじめに

最近のMEDLINEの話題といえばインターネットを利用したMEDLINEについてのものばかりです。しかし病院図書室においてMEDLINEからの情報収集手段となるとまだまだCD-ROMが中心であるのも事実です。

平成9年9月に行われた日本病院会の図書研究会が会員病院に対して行われた図書室実態調査によると、図書室における情報収集サービスはオンライン21.3%に対してMEDLINE CD-ROMが50.5%、医学中央雑誌CD-ROM版が、45.4%。インターネットの接続率は職場で30%、自宅で6%となっています。¹⁾インターネットによるMEDLINE検索は魅力的なものです。CD-ROM検索にも当然メリットがたくさんあります。またMEDLINE CD-ROMの種類もバラエティに富んでいます。

今回はMEDLINE CD-ROMの中でもユニークな存在であるAries(アリーズ)MEDLINEについて紹介したいと思います。

2. ラインアップの特徴

MEDLINEは米国国立医学図書館が作成する医学・看護学・薬学・歯学の領域を含む総合的な医学データベースですが収録範囲が広すぎて余計なものまで検索してくるというケースがあります。またCD-ROMの枚数が多くなってしまい全年代を検索するには時間がかかってしまうといったこともあります。医師

にとっては専門領域のみの該当論文が何件か出れば良いというケースも多い様です。そうしたケースに対応できる様にAries MEDLINEでは全分野・全データを収録するフルセットの他に専門領域に収録雑誌を絞った14分野の分野別CD-ROMをラインアップしており大きな特徴となっています。こちらの更新頻度は年1回のもものと年4回のもものとがありCD-ROM 1~3枚(年1回更新版ではCD-ROM 1枚に収録)にデータが納められておりフルセットより安価で個人の医師でも購入できる価格となっています。

以下に14分野の内容を記します。

CardLine(循環器科) OrthoLine(整形外科)
DermLine(皮膚科) PathLine(病理)
EndocrineLine(内分泌科) PediLine(小児科)
GastroLine(消化器科) RadLine(放射線)
NeuroLine(脳神経科) SleepLine(睡眠障害)
OBGLine(産婦人科) SurgAnLine(外科麻酔科)
OphthaLine(眼科) UroLine(泌尿器科)

3. 動作環境

Windows、Macintoshパソコンが主流となった現在、比較的低いスペックのパソコンでも充分動作するMEDLINE CD-ROMといえます。

【Macintosh】

CPU 68020以降(推奨;68030以降、PowerPC)
OS 6.0.5以上
(推奨;System7、漢字Talk7.5.x以上)
メモリ 最低4MB (推奨;8MB以上)

ディスク空き容量 10MB以上
CD-ROMドライブ 2倍速以上を推奨

【Windows】

CPU 80386以上(推奨; 486以上、Pentium)
OS Windows3.1以上
メモリ 最低4MB (推奨; 8MB以上)
ディスク空き容量 (10MB以上)
CD-ROMドライブ 2倍速以上を推奨

4. 検索エンジンと検索方法について

Aries Systems Corporation が開発した医学文献検索用ソフトウェアである Knowledge Finder を使用しています。MEDLINEだけでなく Aries社がリリースしている New England Journal of Medicine CD-ROM などのフルテキストデータベースの検索エンジンとしても使われています。

Knowledge Finder は エンドユーザーの利用を第一に考えた直感的な操作方法が特徴です。大きく分けるとFree-Form Topic Search (自然語検索) と Dictionary / Thesaurus Search(キーワード検索)という2つの方法をもっています。この2つの検索方法を組み合わせることで効果的な検索が可能になります。Free-Form Topic Search は検索テーマを自然語で検索するのに用い Dictionary/ThesaurusSearch は MeSH (MEDLINE 固有のキーワードシステム) を使った検索や著者・雑誌名などの項目から検索する場合に利用します。(図1・図2)

SilverPlatter や DIALOG の検索システムのようにいくつかのキーワードを入力した後に掛け合わせの結果を求めるといったような検索方法ではなく入力項目欄にすべてを記入して検索させるという方法です。インターネットを利用した検索方法に近いとお考え頂ければわかりやすいかと思えます。

また Relevance(関連性)を自動評価してランキングをつけるシステムになっており最新

データからの出力だけではなく関連性の高い順に表示させることもできます。これは検索結果が多すぎて必要な関連のより高い文献を見つけることができないという問題を避けるためのものです。検索テクニックを要する検索結果の絞り込みに慣れないエンドユーザーには良いシステムと思われます。(図3)

5. その他の機能

(1) 検索結果の表示・印刷・ダウンロード
表示・印刷・ダウンロードの各々において出力する項目・順序をカスタマイズできます。ダウンロードされたフォーマットは、EndNoteや GetAref などの文献管理ソフトに取り込むことができます。

(2) 検索式の保存・再利用

一度検索した式はファイルとして保存しておくことができます。繰り返し検索する場合やディスクの更新時に検索する場合にそのまま再実行できます。

6. おわりに

「A * Bでは1966年以降、該当3件、Aのキーワードは MeSH の下位概念も網羅し....」こんな検索を行ってきた情報検索担当者(サーチャー;私もそのひとりですが)には Aries MEDLINEの検索方法には違和感を覚えるかもしれません。しかし検索の概念やテクニックを知らない医師を始めとするエンドユーザーが適切なキーワードを入力して表示された文献リストを見ながら該当文献を2~3件探すというケースには必要かつ十分な機能ではないかと思えます。簡単な検索はエンドユーザーが行う(行える)ようになったということです。インターネットの MEDLINE や AriesCD-ROM が評価されるのもそのようなところに理由があるのではないかと思えます。

【参考文献】

1) 日本病院会ニュース 平成10年3月25日

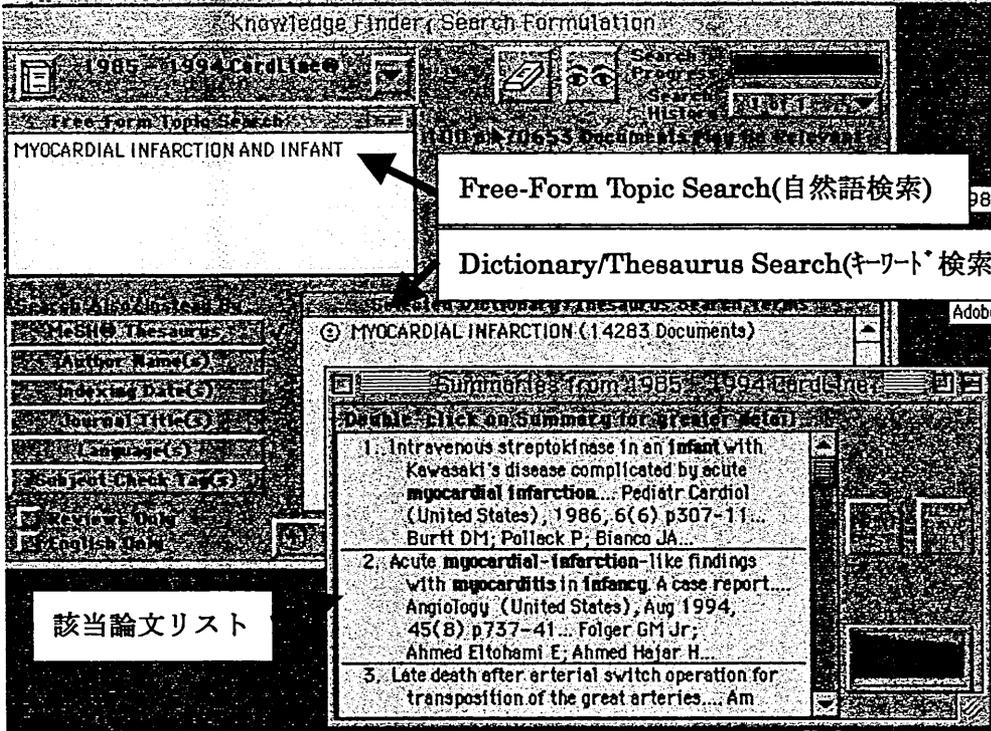


図1. Search Form

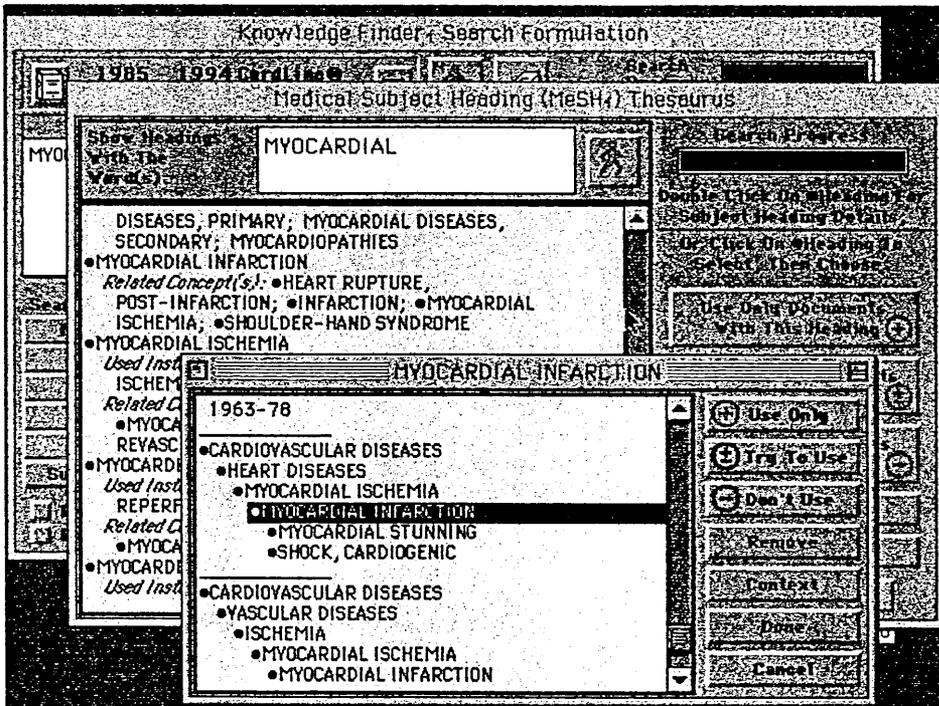


図2. MeSH Thesaurus

File Edit Search Dictionaries Documents Font Windows Help ヘルプ

Document(s) from 1985-1994 Card Index

ARTICLE TITLE: Acute myocardial-infarction-like findings with myocarditis in Infancy. A case report.

ARTICLE SOURCE: Angiology (United States), Aug 1994, 45(8) p737-41

AUTHOR(S): Folger GM Jr; Ahmed Eltohami E; Ahmed Hajar H

AUTHOR'S ADDRESS: Department of Hospital, Doha, Qatar.

MAJOR SUBJECT HEADING(S): Coronary Artery Disease; Myocardial Infarction [diagnosis]; Myocarditis

MINOR SUBJECT HEADING(S): Coronary Angiography; Echocardiography; Gallium Radiotopes [diagnostic use]; Heart Catheterization; Heart [radionuclide imaging]; Infant; Myocarditis [complications]

INDEXING CHECK TAG(S): Female; Human

PUBLICATION TYPE: JOURNAL ARTICLE

ABSTRACT: A four-and-a-half-month-old infant suffered sudden circulatory collapse early in the course of a brief febrile illness. The electrocardiogram initially appeared normal; an abrupt change indicative of extensive myocardial infarction occurred following stabilization. Coronary arterial anatomy and flow by echocardiography and angiography were normal except for the finding of single origin of the entire coronary system from the left sinus of Valsalva. Gallium 67 myocardial imaging was positive for an inflammatory process, and the diagnosis of myocarditis was supported. This is the first case, to the authors' knowledge, of myocarditis simulating myocardial ischemia in an infant of an age in which anomalous origin of the left coronary artery from the pulmonary artery is a recognized cause for myocardial infarction.

MEDLINE INDEXING DATE: 9411

ISSN: 0003-3197

LANGUAGE: English

UNIQUE NLM IDENTIFIER: 94324784

CAS REGISTRY/EC NUMBER(S): 0 (Gallium Radiotopes)

POSSIBLE RELEVANCE

Relevance : 表示されている文献がどのくらい関連性が高いかを自動評価

Previous Next Document

2 of 100

PRINT LIST SAVE FILE

Summarize

Done

図3. Document Form